

さいたま市立大宮北中学校

学校だより 10月号

令和7年9月26日(金)



048(641)1214

048(641)6680(さわやか相談室)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

『人間性豊かな
実践力のある生徒』

- ◆たしかな学力
- ◆ゆたかな心情
- ◆たくましい身体

あかあかと 日はつれなくも 秋の風 (芭蕉)

校長 廣江 剛

日差しは夏の暑さを残しつつも、朝夕の風は秋の涼しさを感じるようになりました。8月30日(土)、本校では文化祭が開催されました。今年は体育館リフレッシュ工事のため、3年生以外はオンラインでの公開となっていました。全国的に行事の精選が行われる中、このような文化的で楽しい行事が継続できていることに、大変な喜びを感じています。英語弁論大会出場者による発表は、全校生徒の手本となるような発音であり、見事なパフォーマンスでした。有志によるダンスや音楽、劇、漫才等の発表は、どれも個性と創意に富み、観る者の心を惹きつけるものでした。北中生の創造性、表現の豊かさを十分に感じた素敵な時間となりました。

9月末からは早くも運動部の新人戦が始まります。1・2年生にとっては、初めて公式戦に臨む生徒も多く、緊張と不安の中での挑戦となることでしょう。しかし、競技において大切なのは、勝敗だけではありません。礼儀を重んじ、仲間とともに支え合いながら、真剣に取り組む姿勢こそが、人間的な成長につながります。生徒たちが自らの限界に挑み、努力を重ねる姿を心から応援しています。

そして、10月25日(土)には合唱祭が開催されます。本校は、「歴史を紡ぐ 歌声響く 大宮北中」を特色ある学校づくりのスローガンに掲げ、歌を通じて心を通わせる教育を大切にしています。今年は、例年の体育館を離れ、市民会館いわつきのホールを会場として実施する運びとなりました。音響に優れた環境の中で、生徒たちが心をひとつにして紡ぐ歌声は、聴く人の胸に深く響くことでしょう。合唱は、単なる音楽活動ではなく、互いの声に耳を傾け、調和を目指す中で、協調性や表現力、そして感受性を育む大切な学びの場です。生徒たちが真摯に音楽と向き合い、仲間とともに創り上げる合唱の時間が、かけがえのない思い出となることを期待しています。

このように、2学期は文化的・体育的な行事が目白押しです。それぞれの活動を通して得られる経験は、学力の向上のみならず、人間性の涵養にもつながるものであり、学校教育の根幹をなすものと考えています。保護者の皆様、そして地域の皆様には、今後とも生徒たちの成長を温かく見守っていただきますよう、お願いいたします。

最後に、先日、生徒会役員選挙が行われ、後期の生徒会役員が決まりました。立会演説会では、誰一人、原稿を棒読みするような生徒がなく、全ての候補者、応援者の演説が素晴らしかったです。そんな中、多くの演説の中で使われていた言葉があります。「生徒一人ひとりの声を大切にしたい」という言葉です。その言葉には、仲間を思いやる気持ちと、学校をより良くしたいという真摯な願いが込められていたように感じます。学校は、先生がつくるものでも、制度がつくるものでもありません。生徒一人ひとりが、日々の言葉や行動を通して形づくっていくものです。41年前に制定した「大宮北中憲章」の精神もそこにあると考えています。「自分たちの学校を、自分たちの手でより良くしていく」その意識こそが、皆さんの主体性を育み、未来を切り拓く力となります。新しい生徒会役員の皆さんには、ぜひその思いを胸に、仲間とともに歩んでほしいと願っています。また、もっと広く言うならば、学校を形づくるのは、生徒だけでもありません。保護者の意見を反映させるのが「PTA」であり、地域の意見を反映させるのが「学校運営協議会」(コミュニティスクール)です。本校では学校運営協議会の委員に11名の地域の方々を委嘱しています。学校、生徒、保護者、地域の皆様、全ての力を結集して学校を形づくっていくのです。それが、年度当初に掲げた学校スローガン「みんなで創る!!笑顔満開 大宮北中」の根幹なのです。

